

KOIZUMI

コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番	一般型（20分定格）	
	片面型	両面型
	AR46833L〔B級 BL形〕	AR46834L〔B級 BL形〕
	AR46835L〔C級〕	AR46836L〔C級〕
	長時間定格型（60分定格）	
	片面型	両面型
	AR46837L〔B級 BL形〕	AR46838L〔B級 BL形〕
	AR46839L〔C級〕	AR46840L〔C級〕

〔蓄電池内蔵型〕

自己点検機能付

保存用



(一般屋内用) 器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や、損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

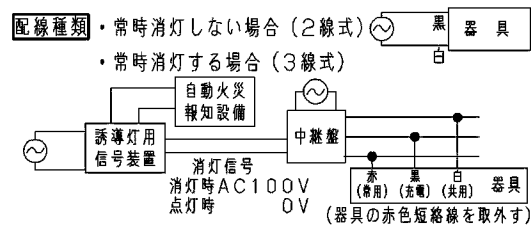
	禁止 壁/天井直付、吊下専用。 指定以外の取付はしない。 落下・感電・火災の原因となります。		厳守	施工は、施工説明にしたがい確実に行う。 施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
	分解禁止 器具に衝撃を与えたり、改造したりしない。 落下・感電・火災の原因となります。			
	蓄電池を短絡・分解したり火や水に投入しない。 火災・破裂・やけど・感電の原因となります。			
				表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数の電源で使用する。 使用電源に不備があると、感電・火災の原因となります。
				蓄電池は確実に取付ける。 非常時に点灯しません。

注意

	厳守		厳守	雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、温泉街など腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。 電源線、取付部からの水の滴下等の浸入がある所でも使用できません。 火災・感電・落下の原因となります。
				周囲温度は、5～35℃で使用してください。 範囲外の温度にて使用した場合、火災の原因となります。
			禁止	電源穴・取付穴を通じて取付面うら側から水気・湿気が入る可能性のある場合には防水シール材等ですまを埋めてください。 防水処理が不完全な場合、浸水による感電・火災の原因となります。
				外の風が直接当たる場所では使用しないでください。 落下の原因となります。

施工上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時連続点灯し使用してください。
常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
また、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯信号装置などを用いて消灯してください。
- 電源を通电せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。
蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 両面型の器具の場合、片面型として使用しないでください。
点灯しません。

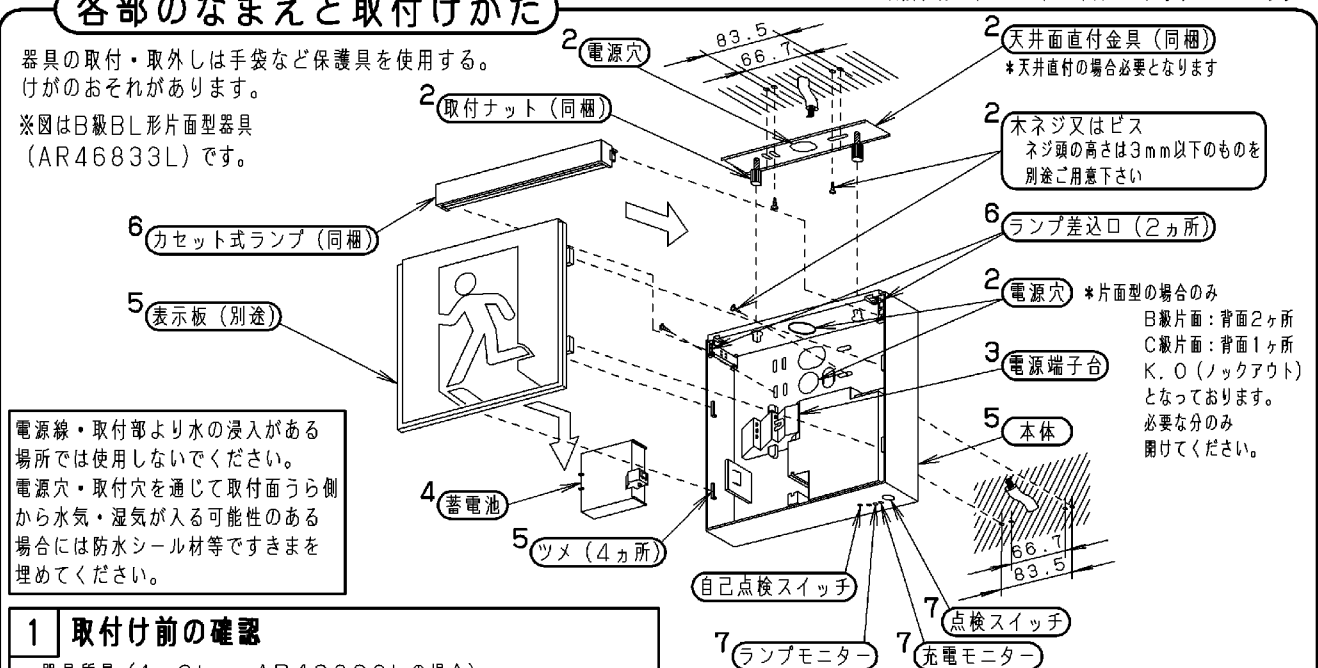


各部のなまえと取付けかた

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

※図はB級BL形片面型器具
(AR46833L)です。



電源線・取付部より水の浸入がある場所では使用しないでください。
電源穴・取付穴を通じて取付面うら側から水気・湿気が入る可能性のある場合には防水シール材等ですまを埋めてください。

1 取付け前の確認

- ・器具質量(1.9kg:AR46838Lの場合)
- ・ネジを使用する場合は、取付部の十分な強度を確保する。
- ・ボックスに取付ける場合は、器具用カバーを使用する。
下図のような器具用カバーを別途手配してください。

(他のカバーの場合、器具がはみ出る可能性があります。)

器具用カバー (パナソニック製) (DS4511等)

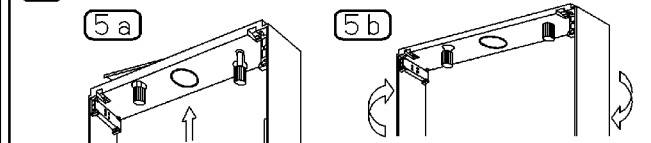


不備があると器具落下の原因となります。
注) 吊具を使用する場合は、適合吊具の取扱説明書を参照して下さい。

2 本体の取付

<天井直付の場合>

- ① 天井面直付金具の電源穴から電源線を引き込む。
- ② 天井面直付金具を木ネジ又はビスで確実に取付ける。
- ③ 本体の電源部、取付部のK、Oを開ける。(片面型のみ)
- ④ 電源線を本体の電源穴から引き込む。
- ⑤a 本体を天井面直付金具のねじへ差し込む。
- ⑤b 本体を水平に回転させて、天井面直付金具に取付ける。



- ⑥ 本体に取付ナットを確実に締め付ける。

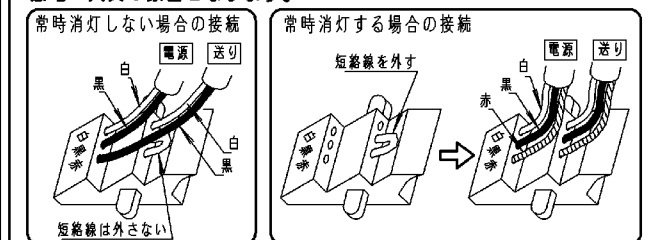
<壁直付の場合>

両面型の器具を片面型として使用できません

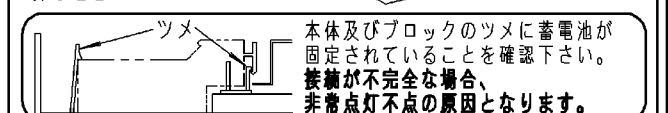
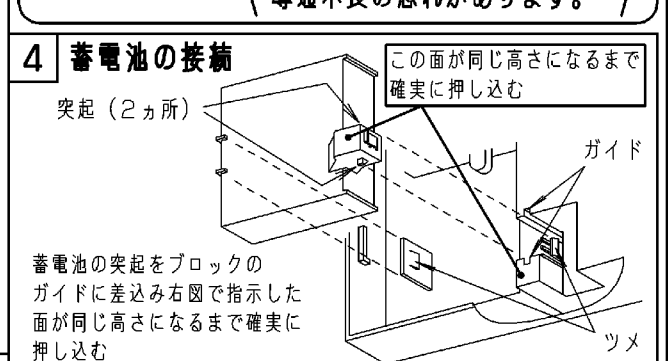
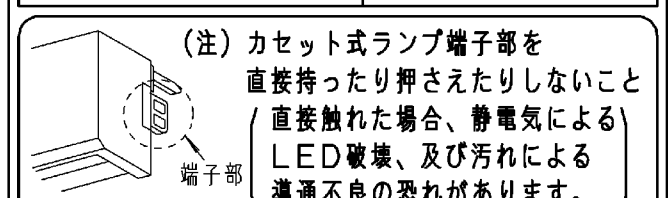
- ① 本体の電源部、取付部のK、Oを内側から外側に向けて開ける。
 - ② 電源線を電源穴から引き込む。
 - ③ 本体を木ネジ又はビスで確実に取付ける。
- 取付に不備があると器具落下の原因となります。**

3 電源線の接続

- ① 電源線を確実に接続する。
 - ② 電源端子台の容量は20Aです。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。**



適合表示板(品番)	
AR46835L, AR46836L AR46839L, AR46840Lの場合	AR46847E, AR46848E AR46849E, AR46850E AR46851E
AR46833L, AR46834L AR46837L, AR46838Lの場合	AR46852E, AR46853E AR46854E, AR46855E AR46856E, AR46857E AR46858E, AR46859E AR46860E



5 表示板の取付

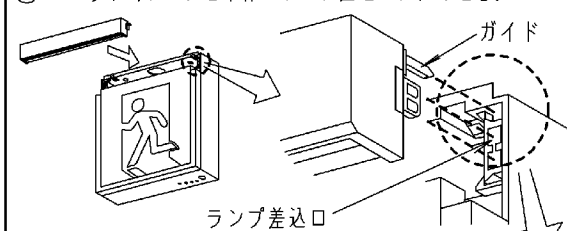
- ① 表示板のツメが本体のツメ(4カ所)の上側にくるように合わせる。
- ② 表示板を下側にスライドさせて、本体と下を揃える。



各部のなまえと取付けかた（続き）

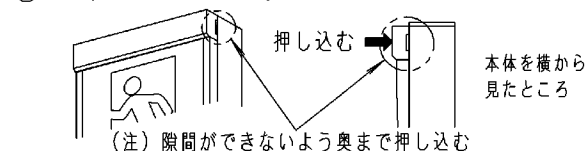
6 カセット式ランプの取付

① カセット式ランプを本体のランプ差込口にはめ込む。



(注1) カセット式ランプ端子部を直接持たないこと
(注2) ガイドをガイド挿入口（右図斜線部）に入れながらカセット式ランプをはめ込む

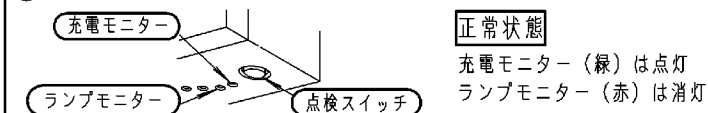
② カセット式ランプをカチッと音がするまで奥に押し込む。



取付に不備があるとカセット式ランプ落下の原因となります。

7 点灯確認

① 電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。



② 電源通電状態で点検スイッチを押して非常点灯を確認する。（点検中、充電モニター（緑）は消灯）

正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）を参照してください。

取扱説明 お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意 必ずお守りください

警告

厳守	万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。 異常状態のままで使用すると、 火災・感電の原因となります。	分解禁止	蓄電池を短絡・分解などしない。 また、火や水に投入しない。 感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
	蓄電池は確実に取付ける。 非常時に点灯しません。		器具を改造しない。 落下・感電・火災の原因となります。

注意

厳守	照明器具には寿命があります。（※） 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。 点検せずに長時間使い続けるとまれに 火災・感電・落下などに至る場合があります。 ※照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、 8～10年が取り替え時期の目安です。 但し、蓄電池は、4～6年です。	厳守	3年に一回は、工事店等の専門家による点検を 実施していただき、不具合がありましたら 適切に処置してください。 放置すると火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。ランプ寿命誤診断の原因となります。

自己点検スイッチ

- 蓄電池容量の点検が行なえます。判定には最大20分（長時間定格型の場合、最大60分）かかります。
- 先の細い（φ3以下）物で2秒以上押しと点検を開始します。（充電モニターが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。）
- 自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）

ランプモニター（赤）

点灯しない	正常です。
赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
赤色点滅	ランプユニット交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、60000時間後に赤色点滅でお知らせします。

(注) ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

点検スイッチ

充電モニター（緑）

点灯しない	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。
緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。蓄電池容量の低下を緑点滅でお知らせします。

お手入れ・部品交換

注意

- 蓄電池・ランプ交換時は、器具に取付けられている蓄電池・ランプと同じパナソニック製の蓄電池・ランプにお取り替えください。故障・ランプ破損の原因となります。
- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- 表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

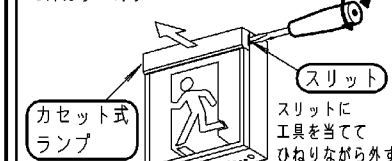
ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（通電60000時間後）
(注) ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合、ランプを交換してください。

交換部品	カセット式ランプ（パナソニック製ランプをご使用ください）	対象品番（両面型器具の場合は、必ず2灯同時にランプ交換をしてください。）
品 番	FK91220 (B級用LEDランプユニット)	AR46833L・AR46834L・AR46837L・AR46838L
	FK91110 (C級用LEDランプユニット)	AR46835L・AR46836L・AR46839L・AR46840L

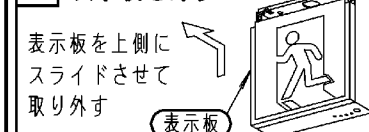
1 カセット式ランプを外す (ランプモニター（赤）点灯)

カセット式ランプを工具（マイナスドライバー等）で片方ずつ外す

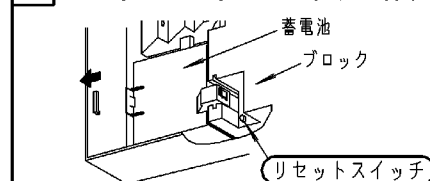


(注1) 必ず左右とも工具にて外してください。無理に引き抜くと破損の恐れがあります。
(注2) 工具は強く押し当てないでください。ランプの破損の恐れがあります。
(注3) ランプ交換は電源通電状態で行なってください。

2 表示板を外す



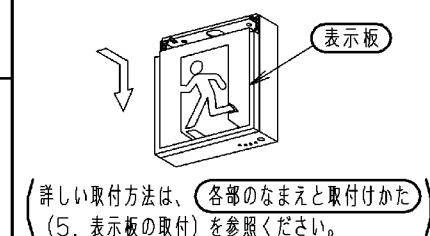
3 リセットスイッチを2秒以上押す



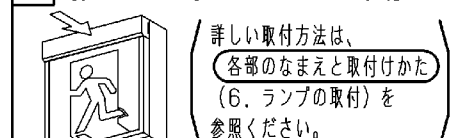
リセットスイッチを押すことでランプ点灯時間のカウントがリセットされます。
※図はB級BL形片面型器具（AR46833L）です。

4 表示板を取付ける

表示板を下側にスライドさせて取付ける。



5 新しいカセット式ランプを取付ける



6 点検スイッチを押す（ランプモニター（赤）消灯）

(注) 点検スイッチを押さないと点灯しません。

表示板の交換方法

- 1 カセット式ランプを外す（ランプモニター（赤）点灯）
 - 2 表示板を外す
 - 4 新しい表示板を取付ける
 - 5 カセット式ランプを取付ける
 - 6 点検スイッチを押す（ランプモニター（赤）消灯）
- (注) 点検スイッチを押さないと点灯しません。
詳しい取付方法はランプの交換方法の1、2、4、5、6をご参照ください。

蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても定格時間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

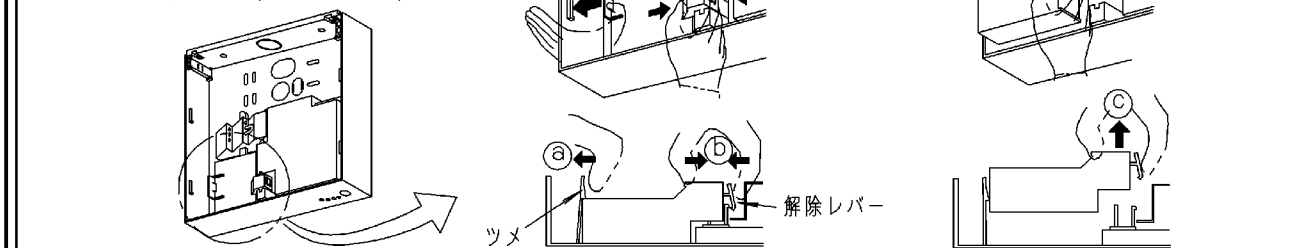
交換部品	蓄電池（パナソニック製蓄電池をご使用ください）	対象品番
品 番	FK721 (2.4V700mAh)	AR46835L・AR46836L・AR46833L・AR46839L
	FK726 (3.6V700mAh)	AR46834L・AR46840L・AR46837L
	FK727 (4.8V700mAh)	AR46838L

1 カセット式ランプを外す (ランプモニター（赤）点灯)

2 表示板を外す

3 蓄電池を外す（充電モニター（緑）消灯）

※図はB級BL形片面型器具（AR46833L）です。



4 新しい蓄電池を接続する（充電モニター（緑）点灯）

接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。（詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた（4. 蓄電池の接続）を参照ください。）

5 表示板を取付ける

6 カセット式ランプを取付ける

7 点検スイッチを押す（ランプモニター（赤）消灯）

(注) 点検スイッチを押さないと点灯しません。

保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。ランプ・蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

器具定格・接続図

消費電力	20分定格		60分定格	
	C級	B級BL形	C級	B級BL形
片面	2.0W	2.7W	2.1W	2.7W
両面	2.6W	3.6W	2.6W	3.7W

(共通仕様)

電源電圧：AC100V
周波数：50/60Hz
その他：通電60000時間後に
ランプモニター点滅

接続図についてはブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

- ◆定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヵ月に1回は、必ず外観点検および機能点検を行ってください。
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

- 表にしたがって調べていただき、それでも異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。	点検スイッチを押す。
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	点灯側にする。
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。	2秒以上押す。
	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
表示面が暗い	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換し、交換時にリセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ、表示板を一度取外し、リセットスイッチを2秒以上押す。
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない (一般型：20分未満) (長時間定格型：60分未満)	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
定格時間の非常点灯の後突然消灯する (一般型：20分以上) (長時間定格型：60分以上)	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。 正常な動作です。	



Ni-MH

この器具は、”ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの”ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または”一般社団法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。

KOIZUMI

保存用

Z-199-015

お客様へ コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。取扱説明書と合わせて保管してください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話 0570-015123

FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や傷みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源
スイッチを切り、必ず販売店
に点検、修理を依頼してくだ
さい。



安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

＜保証について＞

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご指示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間 (お引渡し日より) 本体：1年間 安定器・LED電源/モジュール：3年間

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お買上年月日

お客様

お名前

ご住所

電話 ()

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7